学校番号	218

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（教育図書出版）						
副教材等	ペン習字の基礎　（教育図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学んだことを発展させて更に表現の楽しさを感じてもらう授業となります。
・古典の臨書だけではなく漢字仮名交じり書作品制作や四字熟語の作品制作など、より創作に重点を置いた授業となります。
・また篆刻やうちわ制作など工芸的な作品制作も行います。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、計画的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、創造的に表現を工夫している。	創造的な諸表現をするために、効果的な表現の技能を身につけ、意図に応じた表現方法を工夫している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを深く創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 作品提出	観察 レポート ワークシート 作品提出	観察 レポート ワークシート 作品提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	篆書・篆刻	・篆書の学習 書体の変遷を学習し金文・小篆・大篆を臨書する。 ・篆刻 姓名印を篆書で制作する。	○		○		a:篆書や書体の変遷に関心を持ち、表現活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書においては古典の持つ伝統的な美を感受し、表現を工夫している。篆刻の技法を学び自らの意図に基づいて表現しようと工夫している。 c:篆書においては逆筆の用筆方法ができている。篆刻においては姓名印を刻す技能を身につけ表している。 d:様々な印影を鑑賞しその良さや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 作品提出
	うちわ制作	・うちわ作品制作 うちわに書く文字を選定し、色も自分で染めて制作する。	○		○		a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち表現活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:選定した文字から作品の意図を明確にし表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけている。 d:互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート 作品提出
2学期	漢字仮名交じり書	・漢字仮名交じり書作品制作 相互鑑賞会	○	○		○	a: 言葉の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:効果的に表現するために、墨色や配置、字形に自らの感性を働かせ、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確に表現するための技能を身につけている。 d:互いの作品を鑑賞しその良さを味わっている。	観察 レポート ワークシート 作品提出

	隷書	・古典の臨書 中国の後漢時代の碑を臨書し、篆書から隷書へ変遷した漢字の歴史と筆法を学ぶ。	○		○		a:書体の変遷に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:隷書の基本的な用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆の用筆方法を身につけ表現している。 d:漢字の成り立ちや書体の変遷に興味を持ち、その良さや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 作品提出
3学期	漢字作品制作	・四字熟語の作品創作 楷行草篆隷書五書体のうち自分が選んだ四字熟語にあった書体を選び作品を創作する。 相互鑑賞会	○	○		○	a: ：文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の良さを感じ取り、選定した文字からどのような書体で表現したらよいかを考え工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身につけている。 d:互いの作品を鑑賞し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート 作品提出
	生活の中の書	ペン字	○		○		a:国語科書写の基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c: 国語科書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、その良さや美しさを味わっている。	観察 作品提出

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。